

日頃より、相模鉄道本線（星川駅～天王町駅）連続立体交差事業にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。今回は天王町駅部等の工事進捗状況についてお知らせします。

天王町駅部の工事進捗状況について

天王町駅の横浜方に仮設ホームを設置し、9/22より共用開始しました。



天王町駅のホームを横浜方に約40m移動しました。これは、海老名方に新設構造物を構築するため行いました。

ホシテン豆知識(その11)旧東海道について

今回の事業にまつわるキーワードや情報についてお知らせするコーナーです。

現在の天王町駅前広場は、歌川広重が描いた有名な『東海道五十三次』の「保土ヶ谷 新町橋」跡地に位置します。当時は帷子川が駅の南側を流れていましたが、幾度もの水害を受け昭和30年代の工事により、現在の北側のルートに変更となりました。東海道の名称は、現在の国道1号に受け継がれ、宿場町であった場所に駅などが整備され都市に発展しています。天王町駅の構内を旧東海道が横断しています。



保土ヶ谷 新町橋

(歌川広重『東海道五十三次』より)



当時の帷子川の流れ



現在の旧東海道（天王町駅付近）

工事の状況（平成 25 年 12 月頃までの予定）



終点部	星川駅部	駅間部	天王町駅部
<p>・星川 1 号踏切と 2 号踏切間の床版工事を進めています。 年末には星川駅より星川 3 号踏切付近まで高架橋がつながります。 (写真-①参照)</p>	<p>・星川駅の外壁工事を進めています。</p>	<p>・天王町 3 号踏切の橋桁の工事を進めています。9 月 10 日に橋桁の架設が完了しました。(写真-②参照)</p>	<p>・海老名方の既設ホームの撤去工事を進めていきます。その準備工事を現在、進めています。</p>



星川第 1～2 架道橋間
(北側から南側を望む)



天王町第 3 架道橋桁架設完了
(南側から北側を望む)

～お知らせ～

星天ニュースは横浜市のホームページでダウンロードすることができます。

横浜市 星天ニュース

連続立体交差事業に関する「現在の工事状況」や「お知らせ」は相模鉄道株のホームページでご覧いただけます。

相鉄 連続立体交差工事

～お問合せ～

- 事業に関するお問合せ……横浜市 道路局 計画調整部 企画課 鉄道交差調整担当
Tel 045 (671) 2792
- 工事に関するお問合せ……相模鉄道株式会社 星川・天王町駅付近連続立体交差工事事務所
Tel 045 (335) 6733

横浜市道路局企画課
平成 25 年 10 月発行
横浜市中区港町 1-1
TEL 045 (671) 2792
FAX 045 (662) 3945